

歌川広重

東海道五十三次と富士三十六景

UTAGAWA HIROSHIGE

—LANDSCAPES ALONG THE TOKAIDO ROAD AND MT. FUJI

2016 4.29^{祝金}▷6.26^日

【前期】4月29日^{金祝}～5月26日^土 【後期】6月1日^水～6月26日^日 ※前・後期で大幅な展示替えがあります

【開館時間】午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで) 【休館日】毎週月曜日、5/27～5/31(展示替えのため)

太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>



出世作「東海道五拾三次之内」と最晩年の作「富士三十六景」。 広重が描く二つの大作を一挙公開。



1



2



4



5



3

表面 歌川広重「富士三十六景 駿河薩夕之海上」(部分、後期)

1 歌川広重「富士三十六景 武蔵小金井」(前期)

2 歌川広重「東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景」(前期)

3 歌川広重「東海道五拾三次之内 庄野 白雨」(後期)

4 歌川広重「富士三十六景 駿河三保の松原」(後期)

5 歌川広重「東海道五拾三次之内 箱根 湖水園」(前期)

歌川広重(寛政9年～安政5年、1797～1858)は、風景画の第一人者として幕末に人気を誇った浮世絵師です。1830年代、葛飾北斎作「富嶽三十六景」の人気を受けて風景画ブームが訪れようとしていた頃、当時新進気鋭の広重が世に送り出したのが保永堂版「東海道五拾三次之内」シリーズ。本作は大ヒットし、広重は一躍人気絵師となりました。以降、広重は風景画の第一人者として、生涯に渡って作品を描き続けることになります。その広重の最晩年の大作が富士山を題材とした、三十六枚からなるシリーズ「富士三十六景」。ライバルであった北斎の「富嶽三十六景」を意識したとも言える作品です。本展では、広重の画業を彩る二つの大作を一挙公開するとともに、「隸書東海道」や「名所江戸百景」など、広重の他の名作もあわせて紹介いたします。



【学芸員によるスライドトーク】 展示会の見どころを担当学芸員が解説します。

5月3日(火)・12日(水)・17日(土) 6月7日(土)・18日(日)・23日(水) 各回14:00～(40分程度) 視聴覚室(B1)にて、申込不要、参加無料(要入場券)

【入館料】一般 700円 大高生 500円 中学生以下無料 団体(10名様以上)は1名あたり100円割引いたします。

【アクセス】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10 JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

【問合せ】03-5777-8600(ハローダイヤル) 【公式サイト】<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> 【公式Twitterアカウント】@ukiyoeota

広重を巡る
入館料相互割引プラン

サントリー美術館「原安三郎コレクション 広重ビビッド」
【会期】2016年4月29日(金)～6月12日(日)
【会場】サントリー美術館
〒107-8643 東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階
【公式サイト】<http://suntory.jp/SMA/>

本展チケットをサントリー美術館の左記展示会でご提示いただくと、100円割引でご覧いただけます。また、左記展示会のチケットを当館でご提示いただくと、本展を100円割引でご覧いただけます。
(1枚につき1名様、1回限り有効) ※他の割引との併用はできません。